



九州・タイヘルスケアミッション2023 開催結果報告



2023年4月

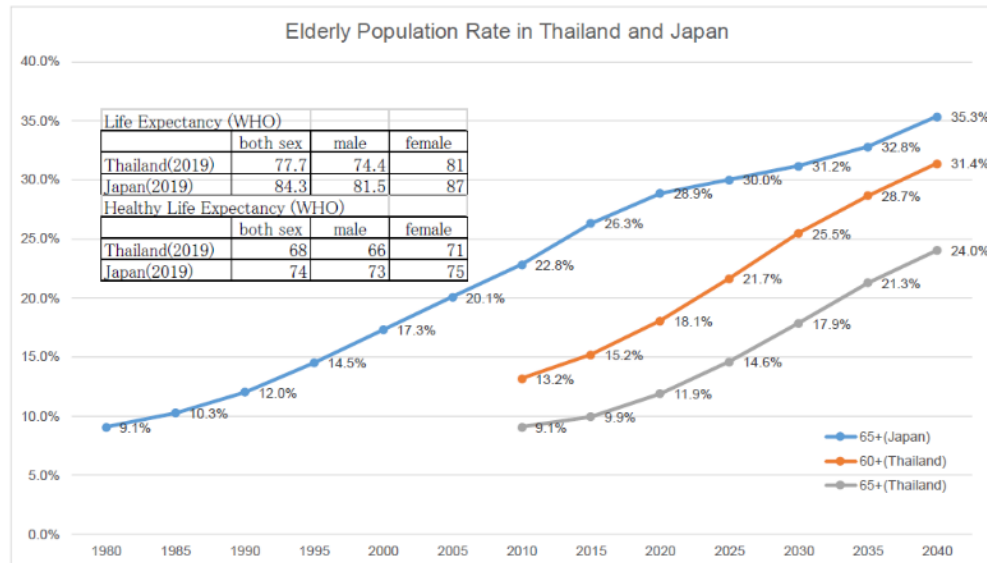
九州経済国際化推進機構 (KEI)



ミッションの目的

<ヘルスケア関連産業における日泰間の関係構築>

- ✓ 2021年8月に、日泰政府間でヘルスケア分野におけるMOCに署名がなされている。タイ国内では、高齢化が喫緊の課題であり、同様の問題を抱えている日本とはこの分野での両国の更なる交流が期待される。
- ✓ 日本では、「東九州メディカルバレー構想」に基づき、東九州地域（大分県、宮崎県）における医療機器関連産業の集積が進んでいる。また、これらの地域に加えて九州全体では海外展開に関心のあるヘルスケア関連企業が多い。
- ✓ 以上のことから、九州のヘルスケア関連企業のタイにおけるビジネスチャンスの創出を目的に、施設（病院・高齢者施設等）の視察を行うとともに、バイヤー・セラー等とのネットワーク構築のための相談会を開催。
- ✓ 高齢化社会への対応に強みを持つ九州のヘルスケア関連企業がタイへ進出することで、九州とタイ双方へプラスの効果をもたらすことが期待できる。



ミッション団概要

＜日 程＞ 2月8日（水）～ 11日（土）

＜訪問地＞ バンコク市、ノタブリー市

＜主 催＞ 九州経済国際化推進機構
（事務局：九州経済産業局、（一社）九州経済連合会）、
九州経済産業局、（一社）九州経済連合会、JETRO福岡

＜後 援＞ 在福岡タイ総領事館、中小企業基盤整備機構九州本部、JICA九州

＜訪問団＞ 団 長：九州経済連合会専務理事

副団長：九州経済産業局国際部長

構成員：企業、自治体、支援機関 など32名（途中参加を含む）

行程

		2月8日(水)	9日(木)	10日(金)		11日(土)
午前	午後	10:00 福岡 ↓ベトジェットエア 14:10 バンコク	JETROバンコクによるブリーフィング @ニッコーホテルバンコク	【表敬班】 BOI 表敬	【視察班】 関係者との相談会 @KAIGO Life	01:45 バンコク ↓ベトジェットエア 08:55 福岡
			パラマウントベッドタイランド 視察	保健省 表敬		
			The Senizens (介護施設) 視察	社会開発・ 人間安全保障省 表敬	有識者との意見交換	
		バンコク泊	バンコク泊	機内泊		

1. JETRO・JICAバンク ブリーフィング

【概要】

- JETRO, JICAのそれぞれの現地事務所より、タイ現地における医療機器関連の状況、海外展開の際に活用できる施策等について説明があった。
- タイへの医療機器等の展開には、タイFDAへの医療機器登録が必要、医療機器ごとに適用グループが分かれるなど、今後の展開に有益な講演が行われた。



2. 現地企業訪問

1. パラマウントベッドタイランド

- 早くからタイに進出した日系企業。
- 自社製造のベッドの他、関連する福祉機器等（他社製）も取り扱っている。



2. The Senizens

- 今回視察した高齢者向け病院の他、介護施設、在宅ケアサービスなどを提供。



3. 政府機関表敬

【訪問目的】

- 2012年に九州経済国際化推進機構とMOUを署名した機関への表敬（BOI）
- ヘルスケア関連省庁への表敬及びネットワーク構築
- 各省庁の情報収集とミッションメンバーが進出する際の支援要請

タイ投資委員会

【訪問概要】

- Chanin副長官、Tanita部長ほかと意見交換。
- タイでは、メディカルツーリズムの拠点となるよう、政策を構築している。BOIもヘルスケア分野を重要視しており、投資に対する恩典制度も充実させている。
- 日本には、タイに進出してもらうことで、東南アジアへの進出も可能となるのではないかと。
- BOIの日本拠点（東京、大阪）では、タイに関心を持つ日本企業の相談に乗ることが可能なので、ぜひ活用頂きたい。



保健省

【訪問概要】

- 健康関連サービス推進局のAkapon副局長と意見交換。
- タイを世界のメディカルハブにすることを目指している。
- 2025年の大阪万博に出展予定。テーマはヘルスケアとウェルネス。2028年にはプーケットに万博を誘致したい。



社会開発・人間安全保障省

【訪問概要】

- 高齢者事業局のKanta戦略企画課長と意見交換。
- タイの高齢者（60歳以上）は約1200万人。高齢者事業局のミッションは、高齢者の生活の安全確保と人材育成。高齢化社会を迎えるにあたり、経済政策を策定している。
- 直轄の高齢者施設は12カ所あり、医療福祉機器の新規導入などを行っている。日本から新たにタイに導入したい機器のテストに使って頂くことも可能かもしれない。



4. 相談会

【実施目的】

- ・タイの現地関係者（有識者）からタイの現状・ニーズ等を直接聞き、また、人脈を築くことで、今後の海外展開への足がかりを構築
- ・まだ海外進出していない九州企業の高い技術力で製造された商品の情報の提供

【実施概要】

- ・タイ側の出席者として、保健省、病院、バイヤー等、様々な属性の有識者を集め、九州側の参加企業がそれぞれのブースで3 5分ずつ自社の商品を紹介する形で面談を行う形式。
- ・商品の売込みに加え、タイ側から事業連携に関する提案がある等、活発な相談会となった。
- ・様々な視点からのアドバイス等を受けることにより、「今後の商品改良の参考になった」「自分では思いつかないような事業計画を提供してもらった」といった声を九州側の参加者より頂いた。

